愛宕ふるさと歴史通信

発行
愛宕まちづくり協議会
岩国市門前町二丁目35番の2
会長　越澤　法男
☎ 080-1909-2323

Vol.1

愛宕地域の歴史文化を愛宕まちづくり協議会が調べました！

パンフレット内の絵図「旧岩国領地」岩国徴古館蔵

愛宕ふるさと歴史通信に込めた思い

私たちが住む愛宕地区には、多くの歴史遺産があります。**「愛宕ふるさと歴史通信」**を通じて、変わりゆく愛宕の今を見つめ、地域の歴史を知り、郷土愛がますます深まることを願っています。
どうぞご活用ください。

愛宕まちづくり協議会　会長　越澤　法男

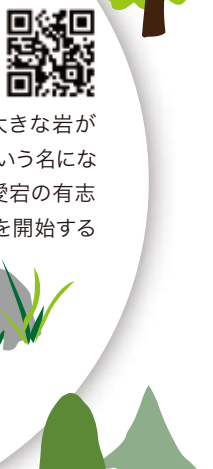
詳しくは動画をご覧ください！

愛宕まちづくり協議会歴史調査

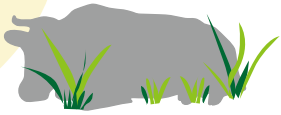
① 愛宕神社

平成12年、現在の地に移転しました。
京都の愛宕神社の末社で火の神や風の神や女神、天狗などが祀られています。
ぜひ一度、愛宕地区の由来となったこの地を訪れて見てください。きっと新しい愛宕に出会えますよ。
愛宕神社に有った天狗のお面を見て大変怖かった事を思い出します。
あの天狗様は今どこにいるのかな？

② 牛岩

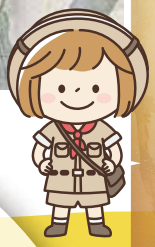


むかし、むかし、愛宕道の傍らに牛岩と呼ばれる大きな岩があったそうな。その岩、牛岩があるゆえ、牛野谷村という名になりました。牛岩は今行方不明です。いよいよ今こそ愛宕の有志が団結して調査隊を結成し、辛苦を惜しまず、行動を開始する時だと思いませんか。



「牛野谷」地名の由来いわれ・遺跡

愛宕山道に「牛岩」という大岩があり、その姿から名前の由来となりました。
「牛岩」は老若男女を問わず諸病悪疫に対してのご利益があり、また、徐病招福の祈願成就を古くから云い伝えられています。
疱瘡をはじめ、諸病（近年は子どものおねしょ）に効験ありと、信仰をあつめました。



③ 石風呂

江戸時代に開設された伝統ある施設です。今で言うサウナ室のようなもので、まさにピザ窯と同じ方法で石で組まれた部屋を暖めていました。昭和44年まで運用していました。牛野谷の近所の方に聞くと、利用していた方がまだ沢山おられるということでした。まず話を聞かれてから、現地を見に行きませんか？
アッと驚き、感動しますよ。

④ 喜楽寺

門前村の名称は今は無き喜楽寺と云うお寺の門前にできた村だったのでその名が付きました。大きなお寺でした。
弘中氏の菩提寺でしたが、厳島の戦いで陶氏と共に敗れ滅亡しました。
最大の謎は、何処に有ったのか、誰が建立したのか、なぜ消えて無くなったのか、ますます謎は
深まっていきます。

隊が調べました！

協力：岩国徴古館

詳しくは動画をご覧ください！

⑤ 紅岩（べにいわ）

宮島（厳島神社）で祭られている市杵島姫命（いちきしまひめのみこと）（厳島大明神）は、この地を船で訪れ、化粧をなおされました。
戦時中、岩国で製造した紫電改（戦闘機）を谷合に隠すため岩の一部が削られました。この付近には今でも大きな岩がごろごろしています。はるやま南岩国店の向かい、山口スバルの隣あたり、ここは海でした。
国道188号を走行中でも見えます。
さあ何処でしょう？

⑥ 屏風岩（びょうぶいわ）

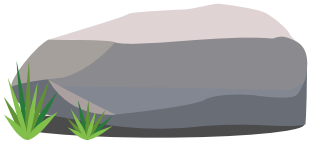
市杵島姫命は、南に足を伸ばされ強く吹く風を避けるためこの岩陰に入られました。昭和17年8月、台風16号の被害でこの辺り一帯は潮水につかりました。
風をよける岩と名付けてあるので、相当大きな岩だと想像して見当をつけると、大変がっかりしますよ。南岩国駅近くの山際に有ります。

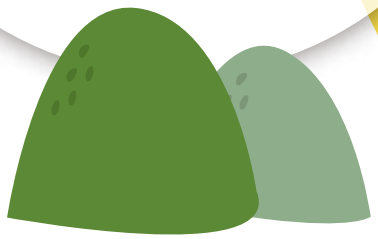
「門前」地名の由来いわれ・遺跡

保元平治時代（今から約８００年前）に「喜楽寺」という大きなお寺がありました。寺のあった地は、木村の奥谷、井原氏の所有の地内に方丈というところがあり、前を亭ケ尾、後の根を喜楽寺峠といい、北には堂の岡という山があります。この近辺には四、五軒あったがその屋敷地の字を寺の内といい、のちに喜楽寺と改めました。この喜楽寺の「門前」がやがて地名になりました。弘中三河守の菩提所とも伝えらています。
狩りの時にはここに寄られてお茶などを飲まれ、僧とむつまじく対座したということです。
今、弘中三河守の墓は通津の専徳寺にあり、その子孫の弘中氏がお寺の住職をしておられます。

⑦ 鏡岩（かがみいわ）

屏風岩からさらに約500m西に進むと、市杵島姫命が鏡を置いて身を整えられた岩があります。現在は海から離れているので見つけるのが難しい岩です。





編集後記

令和2年度に開催した、
「愛宕歴史アラカルト」と題した講演会では、岩国徴古館の松岡副館長の講演が大変楽しく興味深い内容で、もっと**「愛宕」**が知りたいという思いを喚起するものでした。そこで、この講演会の内容をもとにしてパンフレットにして、愛宕小学校の教材として活用していただくとともに、地域の皆さんに配布しようということになり、本協議会の**「地域づくり部会」**において取り組むことになりました。
第1回講演会**「愛宕地区の地名の由来」**については、門前村、牛野谷村の歴史の深さや**「門前」**の由来の本となった**「喜楽寺」**という古寺の存在、牛野谷の**「石風呂」**にはどんな方が入っていたのかなど、また、第2回講演会**「尾津開作の歴史」**では、尾津地区はもともとどこまでが海だったのかなど、メンバーの興味は深まるばかりでした。
次回 Vol.2号 乞うご期待！

地域づくり部会

次回は**「尾津開作の歴史」**などを調査します。

愛宕まちづくり協議会とは？

本協議会は、愛宕地区の住民自らが地域の現状や課題を把握し、岩国市役所や地区内の各種団体と協働してまちづくりを行い、誰もが愛宕地区への愛着と誇りを持ち、**人と人がふれあい、つながり、楽しく暮らしていける** 町の実現を目指すとともに、地域特性を活かした幅広い国際交流を行い、住民が国際化に対する意識や理解を深め、言葉や文化の違いを越えた心と心のふれあいを深めることを目的に活動する市民ボランティア団体です。

活動内容

地域づくり部会

部会目標：夏祭りの開催や愛宕地区の歴史文化を紹介する活動などにより、誇りと愛着がもてる愛宕を目指します。

令和3年度の主な活動

- ●愛宕サマーフェスタ（夏祭り）
- ●愛宕歴史散歩（まち歩き）
- ●愛宕ふるさと歴史通信発行

環境づくり部会

部会目標：美しく住みやすい愛宕を目指します。

令和3年度の主な活動

- ●愛宕スポーツコンプレックス清掃
- ●愛宕山ふくろう公園除草

にぎわい交流部会

部会目標：スポーツや文化イベントによりにぎわいのある愛宕を目指します。

令和3年度の主な活動

- ●英会話で学ぶアクリルペイント絵画教室
- ●親子ヨガ体験教室
- ●パン作り教室
- ●中国の家庭料理教室
- ●親子ペタンク大会
- ●ZUMBA体験教室

愛宕まちづくり協議会のメンバーになりませんか？

住民ボランティア活動は、誰かに強制されたり、義務として行うのではなく、自らが進んで取り組む活動です。「自分がこうしたい」と思う自由な意思と発想が、ボランティアの原点であり、愛宕地区を活性化する原動力となります。